

# 入院医療について

＜入院医療(その3)・入院医療(その7)の資料を抜粋したもの＞

平成28年1月29日

# 7対1入院基本料の経緯（「重症度、医療・看護必要度」・平均在院日数）

平成17年 医療制度改革大綱

「急性期医療の実態に即した看護配置について適切に評価した改定を行う」

平成18年 **7対1入院基本料創設**

平成19年 中央社会保険医療協議会から厚生労働大臣への建議

「手厚い看護を必要とする患者の判定法等に関する基準の研究に着手し、平成20年度診療報酬改定で対応すること」

平成20年 **7対1入院基本料の基準の見直し**

**一般病棟用の重症度・看護必要度基準の導入**

「A得点2点以上、B得点3点以上の患者が10%以上」

平成24年 **7対1入院基本料の基準の再見直し**

**一般病棟用の重症度・看護必要度基準の見直し**

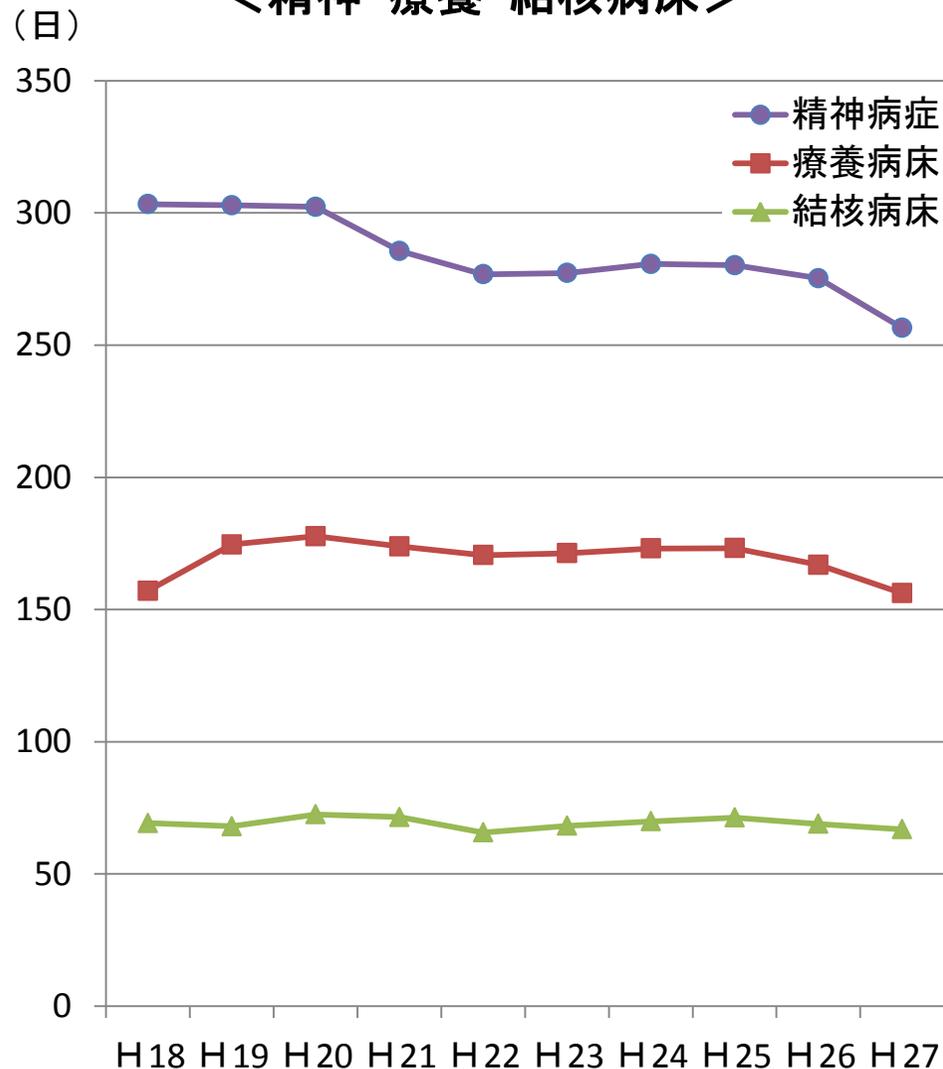
「A得点2点以上、B得点3点以上の患者が10→15%以上」

**平均在院日数要件の見直し**

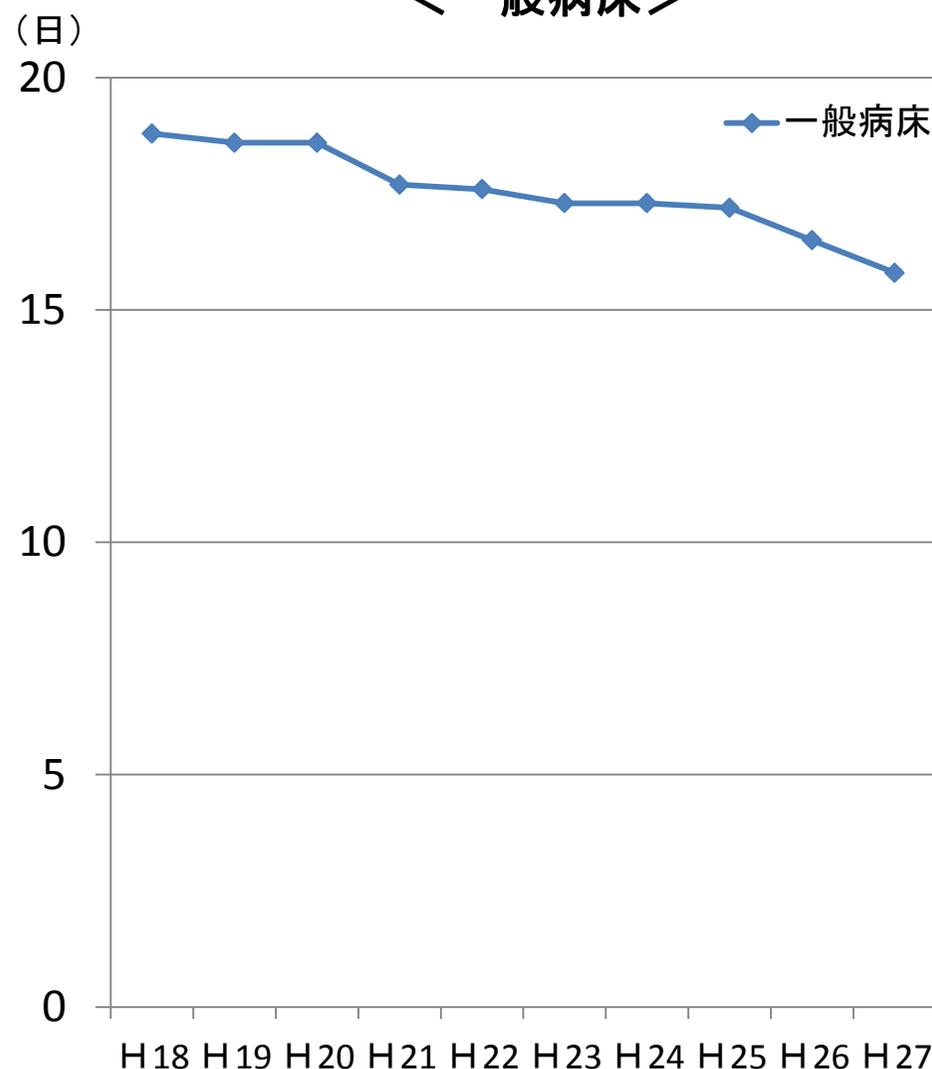
「平均在院日数が19日→18日以下」

# 病床の種類別に見た平均在院日数の年次推移

## <精神・療養・結核病床>



## <一般病床>



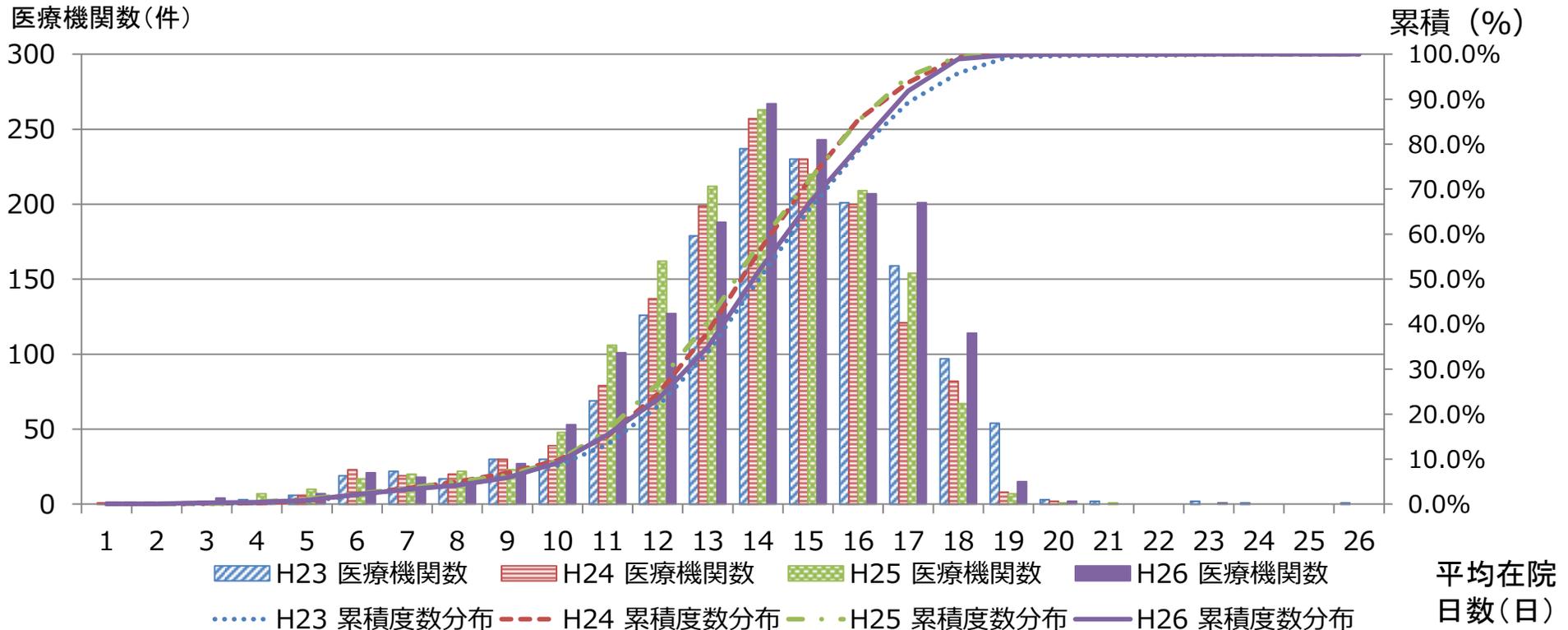
$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{在院患者延数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$$

ただし、療養病床の平均在院日数 =  $\frac{\text{在院患者延数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{同一医療機関内の他の病床から移された患者数} + \text{退院患者数} + \text{同一医療機関内の他の病床へ移された患者数})}$

# 一般病棟入院基本料(7対1)届出医療機関

## 平均在院日数の比較(平成23年~26年)

- 平成24年度改定において、平均在院日数の施設基準が19日から18日に短縮したことを受け、平成24年度は平成23年度と比べて平均在院日数が18日を超える医療機関が減少し、全体の平均在院日数も短縮した。
- 平成26年度改定において、特定除外制度・短期滞在手術等基本料を見直したことに伴い、平成26年度は平成25年度と比べて全体に計算上の平均在院日数が延長した。



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
医療機関数	1,489	1,456	1,550	1,617
平均値±SD	14.3±2.9	13.9±2.7	13.8±2.8	14.1±2.8

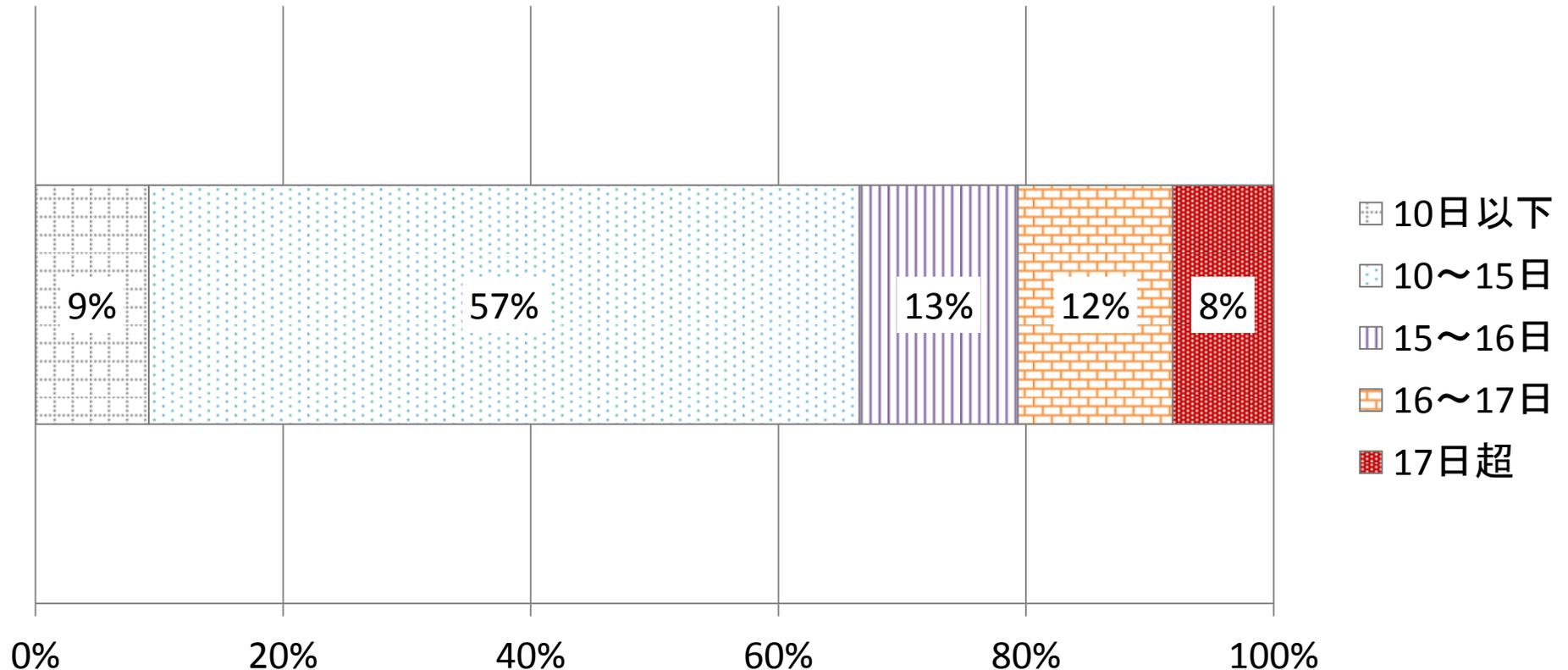
※平均在院日数は各年の診療報酬上の定義に則り  
医療機関が届け出たもの

出典: 保険局医療課調べ

# 一般病棟入院基本料(7対1)届出医療機関の平均在院日数 ～平成26年～

- 平均在院日数が10～15日の医療機関が全体の過半数を占めた。
- 他方、平均在院日数が17日を超える医療機関が8%程度みられた。

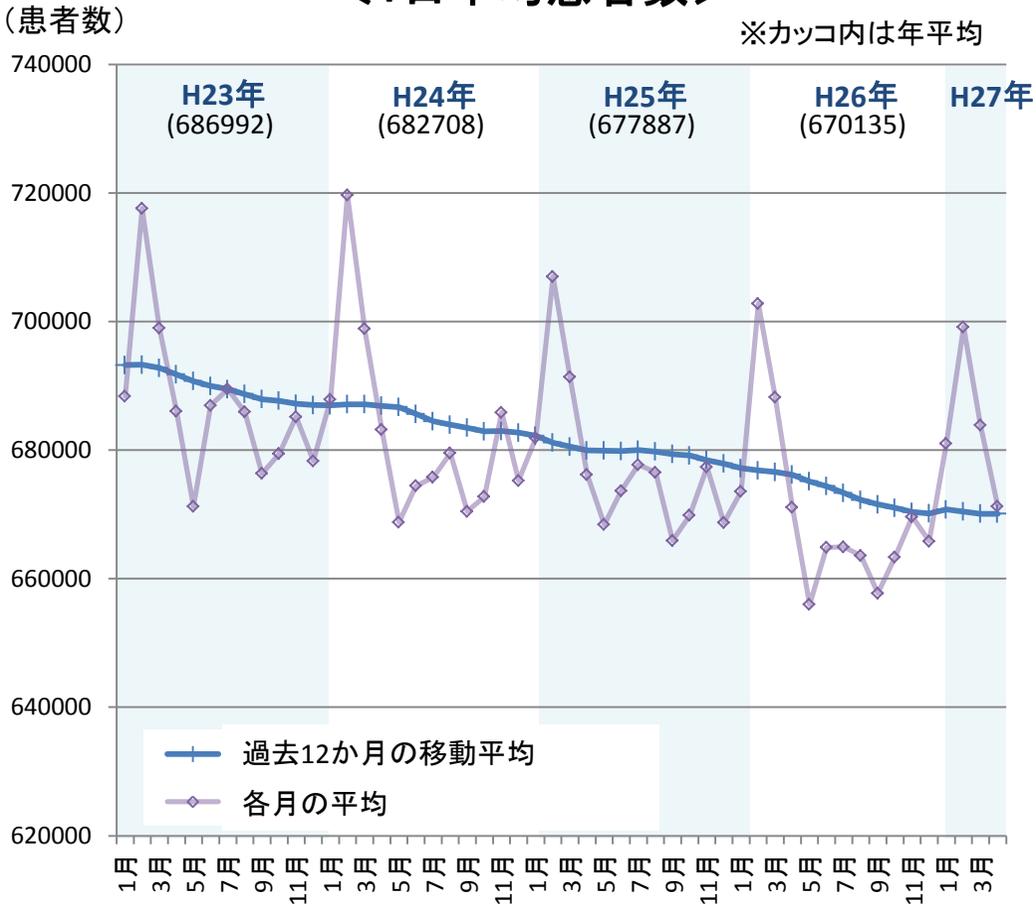
＜平均在院日数ごとの医療機関分布＞



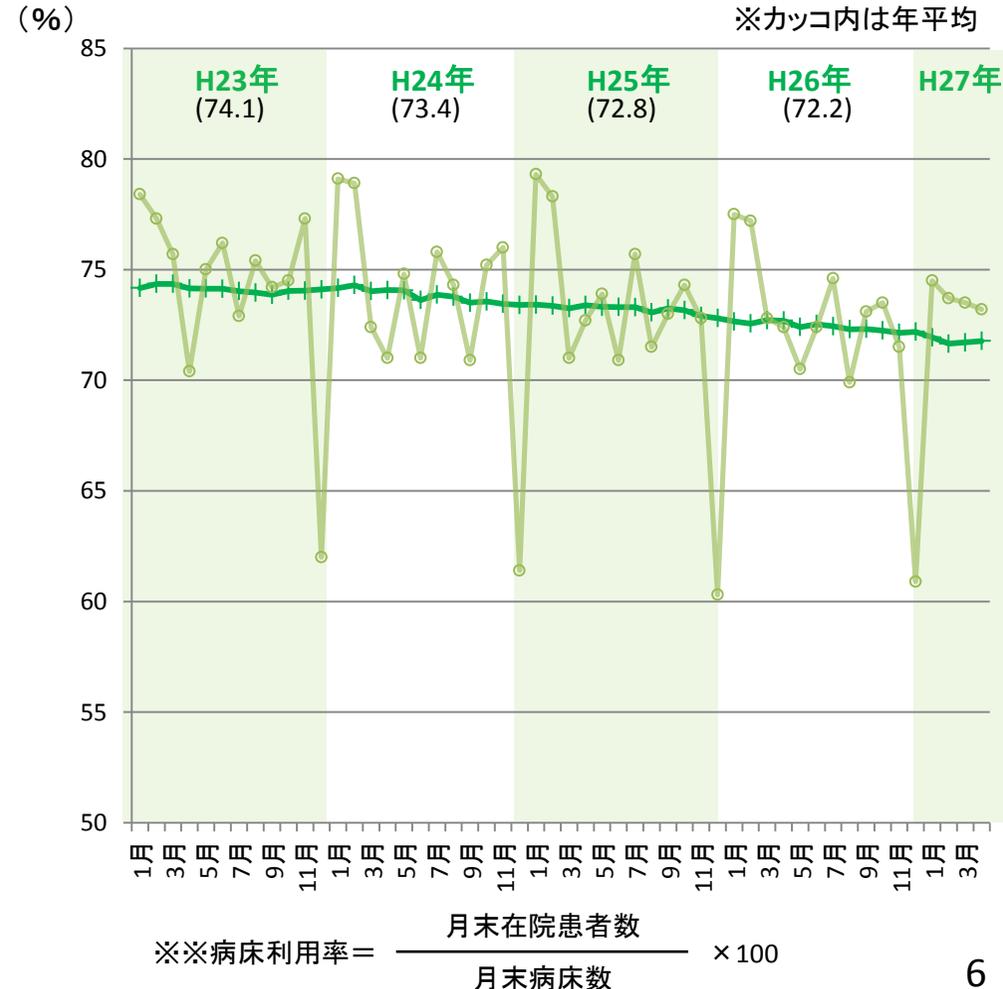
# 一般病床の平均患者数・病床利用率

○ 一般病床における1日平均患者数・病床利用率について、経年的にみると徐々に減少する傾向がみられた。

## <1日平均患者数>



## <病床利用率\*\*>



# 受診延日数の伸び率：医科入院（対前年同期比）

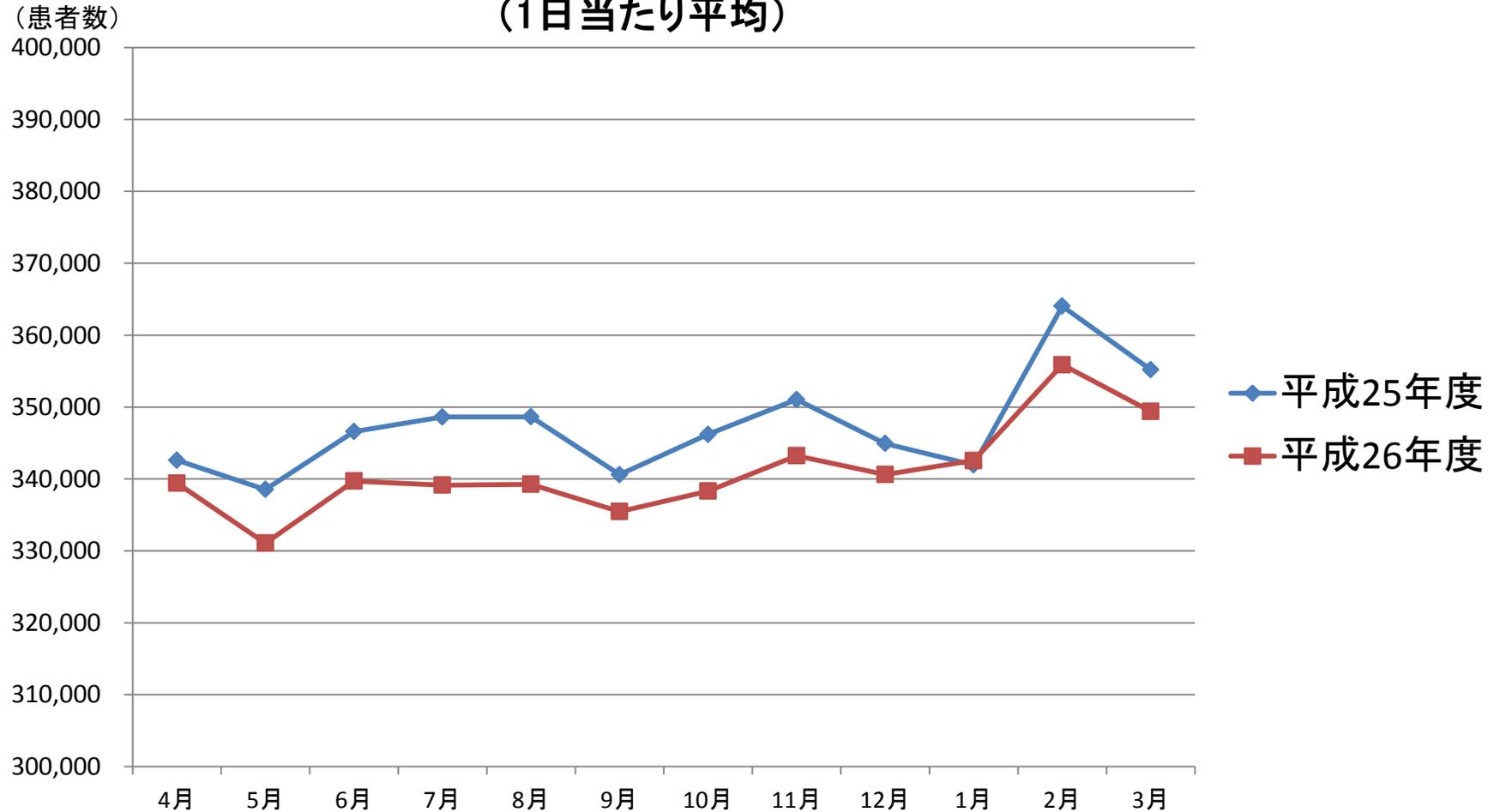
- 医療機関の受診延日数の伸び率について、平成26年4～9月間では、対前年度比－1.0%と、その他の時期と比較して減少幅が大きい傾向があったが、平成26年度後半は対前年度比－0.3%と、減少幅は縮小した。

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度					
						4～9月	10～3月		4～9月	10～3月	
医 科 計		0.8	▲0.4	▲0.9	▲0.5	▲0.3	▲0.7	▲0.6	▲1.0	▲0.3	
	2 0 0 床 未 満	1.2	▲0.4	▲1.3	▲0.1	0.0	▲0.3	▲0.4	▲0.8	0.0	
		20～50床 未満	▲0.1	▲2.1	▲2.5	▲1.3	▲0.9	▲1.6	▲2.1	▲2.5	▲1.7
		50～100床	▲0.3	▲1.7	▲1.8	▲0.7	▲0.4	▲0.9	▲1.2	▲1.4	▲1.0
		100～200 床	1.9	0.3	▲1.0	0.2	0.3	0.1	0.1	▲0.4	0.6
	2 0 0 床 以 上	0.6	▲0.4	▲0.8	▲0.8	▲0.7	▲1.0	▲0.7	▲1.0	▲0.4	
		200～300 床	0.8	▲0.2	0.2	▲0.5	▲0.3	▲0.7	▲0.7	▲0.8	▲0.6
		300～500 床	0.5	▲0.4	▲0.6	▲0.6	▲0.2	▲1.0	0.1	▲0.5	0.6
		500床以上	0.7	▲0.6	▲1.8	▲1.4	▲1.6	▲1.3	▲1.8	▲2.0	▲1.6

# DPC病院(7対1)における平均患者数

- 平成26年度診療報酬改定の前後で、7対1入院基本料を届け出ているDPC算定病院における7対1入院基本料の算定患者数はやや減少していた。

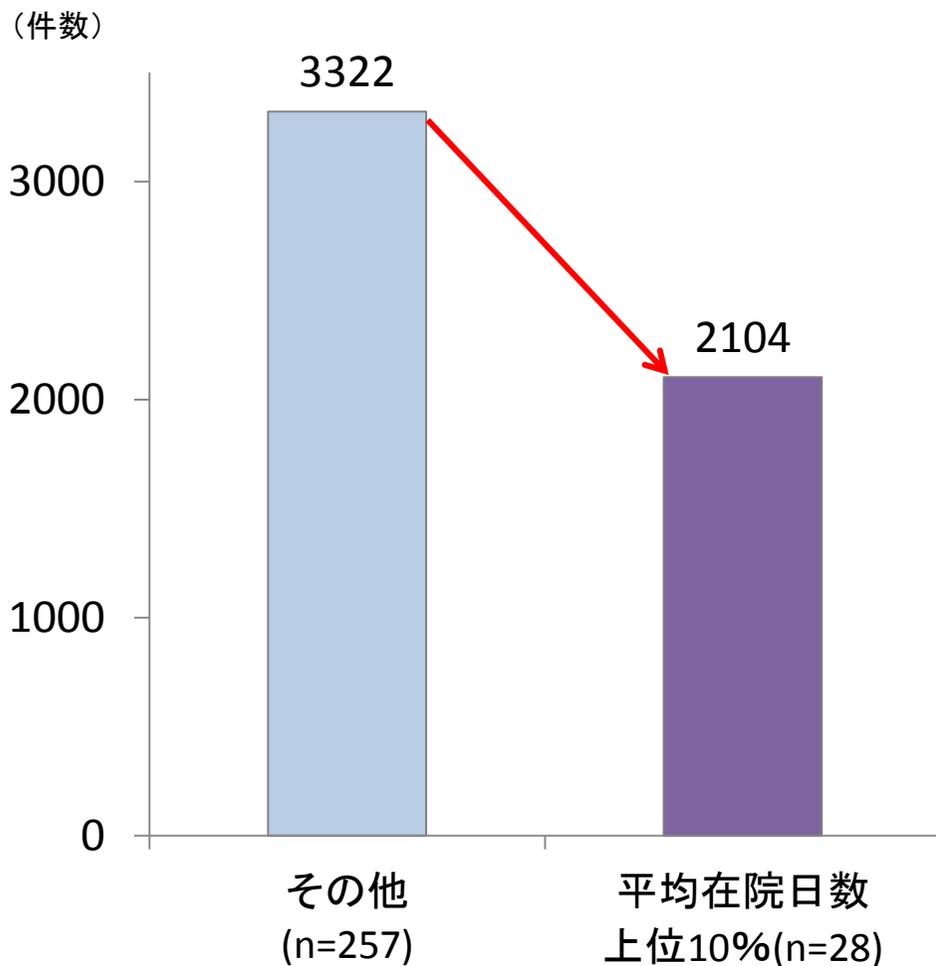
＜7対1入院基本料の算定患者数＞  
(1日当たり平均)



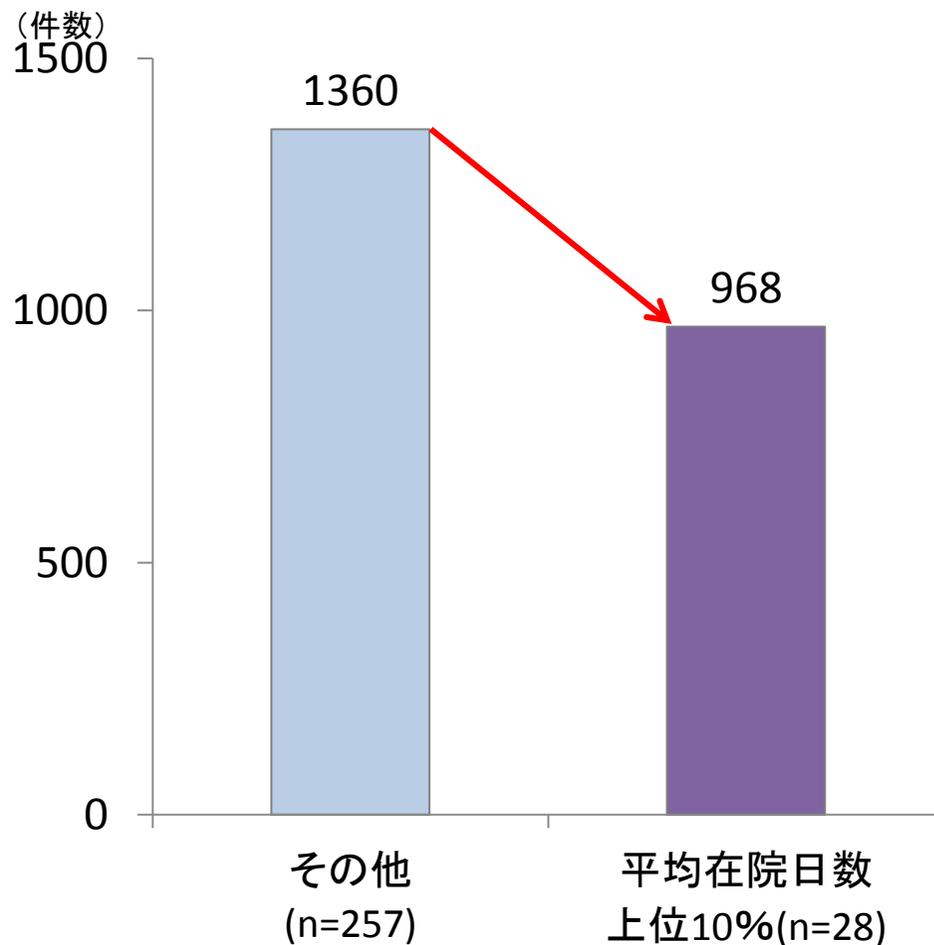
# 平均在院日数が長い医療機関の状況①

- 平均在院日数が長い7対1病院では、その他の7対1病院よりも手術・全身麻酔手術の実施件数が少ない傾向がみられた。

＜過去1年間の手術の実施件数※＞



＜過去1年間の全身麻酔手術の実施件数※＞

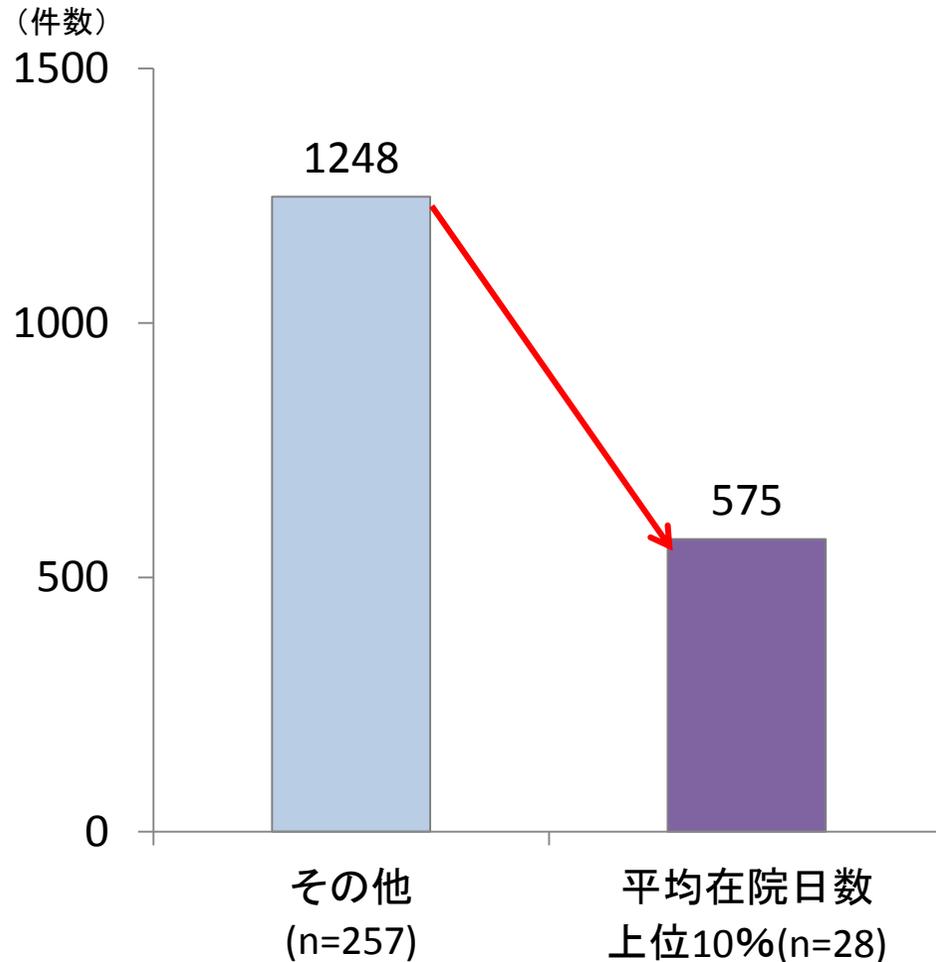


※平均在院日数が長い病院; 平均在院日数上位10%の病院を抽出  
※※平均病床数当たりの実施件数を計上

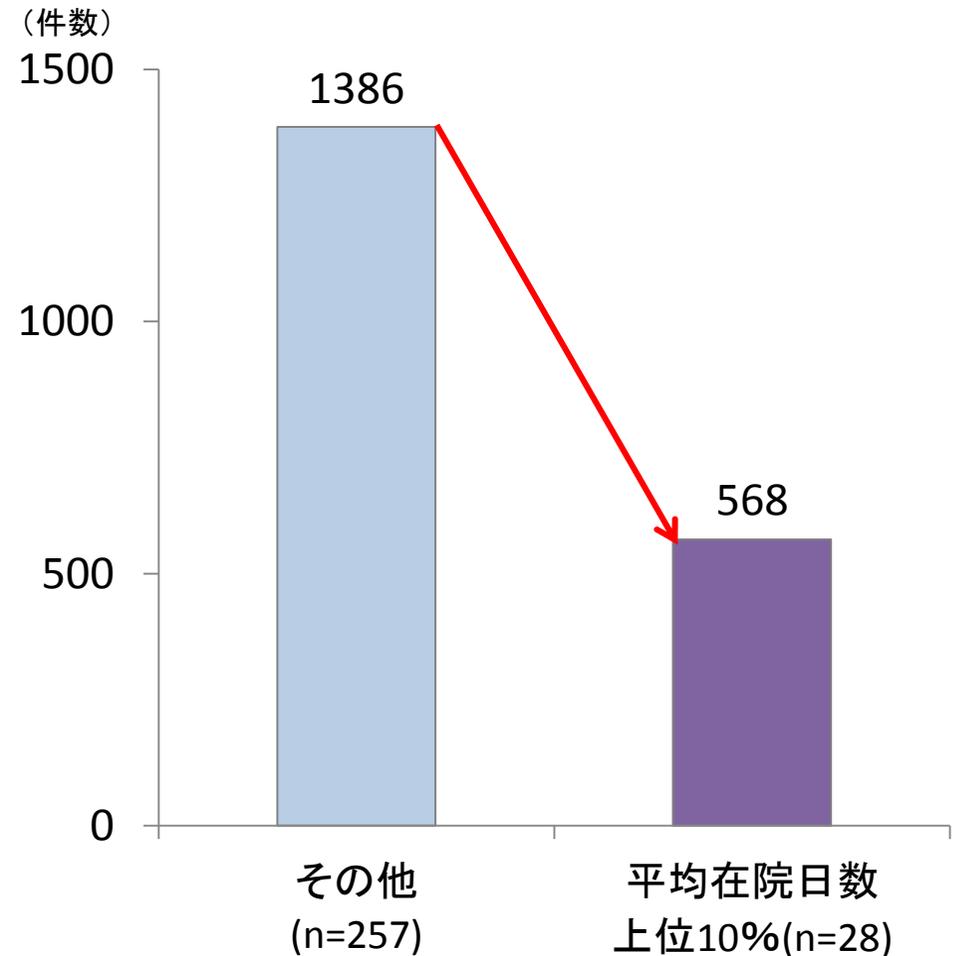
## 平均在院日数が長い医療機関の状況②

- 平均在院日数が長い7対1病院では、その他の7対1病院よりも放射線治療・化学療法の実施件数が少ない傾向がみられた。

＜過去1年間の放射線治療件数※＞



＜過去1年間の化学療法実施件数※＞

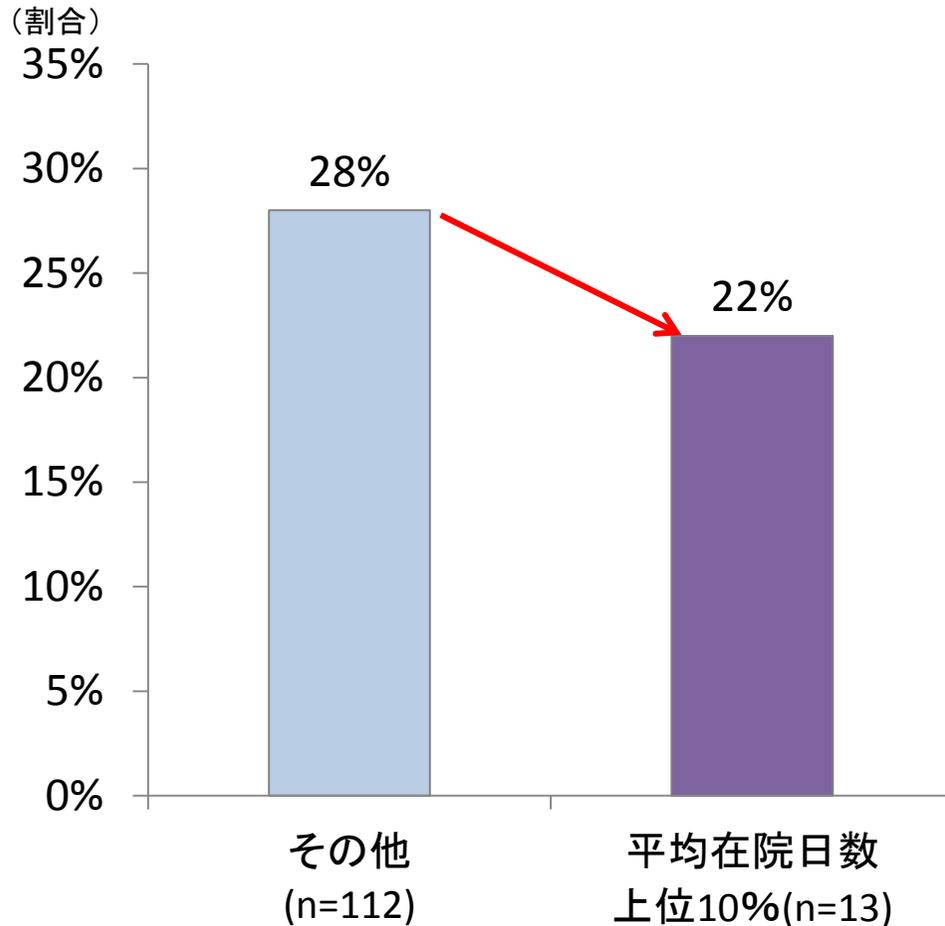


※平均在院日数が長い病院; 平均在院日数上位10%の病院を抽出  
※※平均病床数当たりの実施件数を計上

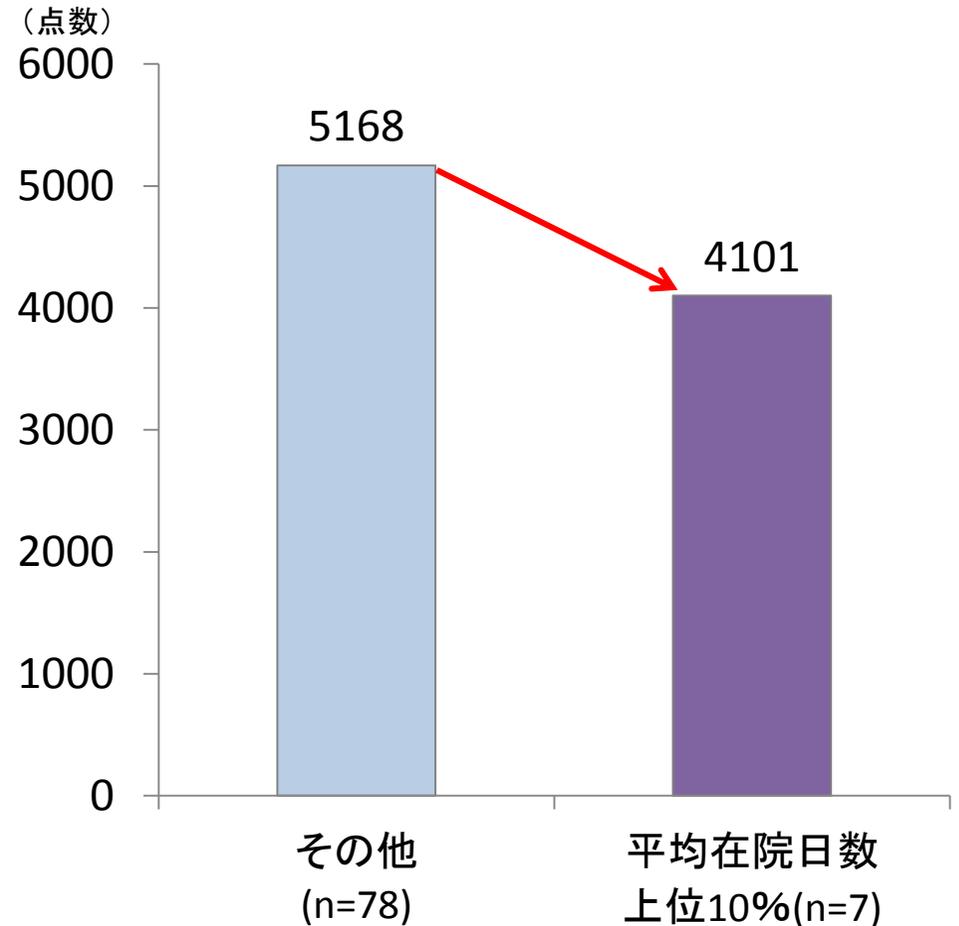
# 平均在院日数が長い医療機関の状況③

- 平均在院日数が長い7対1病院では、その他の7対1病院と比べて重症度、医療・看護必要度A項目の該当患者割合が小さく、1日当たりレセプト請求点数も小さい傾向がみられた。

＜重症度、医療・看護必要度のA項目該当患者割合＞



＜1日当たりレセプト請求点数＞



※平均在院日数が長い病院;平均在院日数上位10%の病院を抽出  
※※平均病床数当たりの実施件数を計上